

AQUA COOL mini

気化放熱式涼風扇
AQC-500M3

取扱説明書



- このたびは、カマクラ涼風扇・アクアクールミニをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をお読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られるように必ず保管してください。

安全面でのご注意

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになって、安全に正しくご使用ください。

この説明書では、当社の製品をご使用いただく上で、万一の事故の発生を未然に防ぐための注意事項を記述しています。特に誤った取り扱いによって想定される危険や損害の程度を2段階の【警告マーク】によって示しています。いずれも安全に関する重要な事項ですから、必ず守ってください。



警告

この表示は、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生またはその可能性が想定される事項です。



注意

この表示は、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される事項です。

さらに、警告マークに付随して【禁止または指示マーク】がついていますので、これに従ってください。



思わぬ事故のおそれがありますので、取り扱い中にはしてはいけないことを示します。



感電のおそれがありますので、指示に従ってください。



事故のおそれがありますので、手を触れてはいけないことを示します。



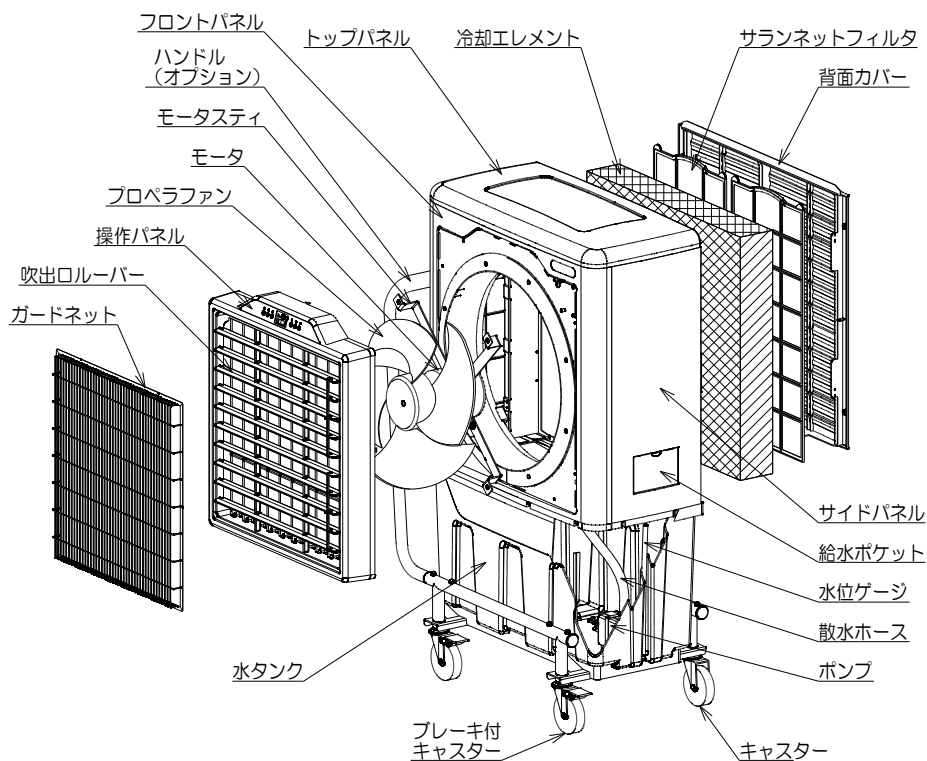
危険防止のため、取り扱い中に適切な処置をとるよう指示に従ってください。

ご 使 用 開 始 時	警告	
		本機は屋内専用です。 屋外や雨や雪の降りかかる場所では使用しないでください。
		アースは必ず取付けてください。 ガス管、水道管、避雷針や電話のアース線と併用しないでください。
		火を近づけないでください。 燃える危険があります。
	注意	
		電源電圧が AC100V±10V の範囲になっていることを確認してください。電圧が極端に低いか、または高い状態で連続運転すると機器の破損や事故のもとになります。 電源周波数が 50Hz と 60Hz で共通ではご使用になれません。 製品ラベルに記載されている周波数の電源で必ず使用してください。 本製品の消費電力以上の容量のある電源でご使用ください。
		万一に備え、漏水しても問題の起こらないところに設置してください。
		涼風機の背面は十分空けてください（最低 30cm）。 狭すぎると、運転音が高くなることや、モータが過負荷で焼損する原因になります。
		使用する水は、必ず水道水をお使いください。 井戸水や工業用水を使用すると、臭気発生のおそれがあります。
		本体は必ず水平に設置してください。斜面に設置すると漏水することがあります。 設置後は、本体移動用のキャスターのストッパーをかけて固定してください
		換気不十分な、閉めきった狭い室内で使用しないでください。 湿度が過度に上昇することがあります
		給水配管接続は確実に行ってください。 接続に不備があると周辺を濡らし、漏電などの危険が増大します。

ご 使 用 期 間 中	 警告	
		濡れた手でスイッチを操作しないでください。 感電の原因となることがあります。
		運転中に冷却エレメントを外したり、吹出口や吸込口に指や棒などを絶対に入れないでください。
		金属が腐食する環境では絶対にご使用にならないでください。
		本体に水がかかる場所で絶対に使用しないでください。
		異常を感じたときは（異臭、漏水、焦げ臭い等）、すぐに運転を中止してください。
		運転中は本体を動かさないでください。 漏水や感電などの原因となるおそれがあります。
		分解・修理は、資格のある技術者以外の人が行ってはいけません。 改造は危険ですので絶対に行わないでください。
	 注意	
		電源プラグ、コードは破損しないようご注意ください コードに重い物を載せる、コードを挟む、引っ張る等の行為は、 火災や感電の原因となります。
		保守点検時は、必ず電源プラグを抜いて、安全を確認してから実施してください。
		保守点検の際、電気部品に水がかからないようご注意ください。 電気部品の絶縁が劣化し、感電の原因となることがあります。
		ポンプの長時間空転は故障の原因となります。 水が不足すると水位センサが働きポンプを自動停止しますが、 水不足のアラームが表示された場合は、できるだけ早く給水するか、 涼風運転を停止して送風運転でご使用ください。
		運転中は換気を十分に行ってください。 閉めきったところでは、湿度が過度に上昇し、冷却効果も悪くなります。
		本体の上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。 落下、転倒などでケガや感電、故障の原因となることがあります。
		日々の運転終了時には、臭いの発生を防ぐために排水することをお奨めします。
		自動給水の場合は、日々の運転終了時に、必ず給水元栓を閉めてください。
		長期の使用休止に入るときは、水タンクの水を捨て、本体内部を清掃し、 エレメントを乾かし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
		塵埃の多い場所で使用すると、水タンクに塵埃が堆積して、 ポンプが故障する可能性があります。
		自動給水の場合に使用する給水用耐圧ホースは、使用圧力 0.2MPa 超の糸入りの 耐圧ホースをご使用ください。 耐圧ではないホースをご使用の場合、ホースが破裂する恐れがあります。
		運転時は、必ずサラネットフィルタを取付けてご使用ください。 水飛びやモータ破損などの原因となります。

1. 各部の名称

■ 全体図



■ 冷却エレメントについて

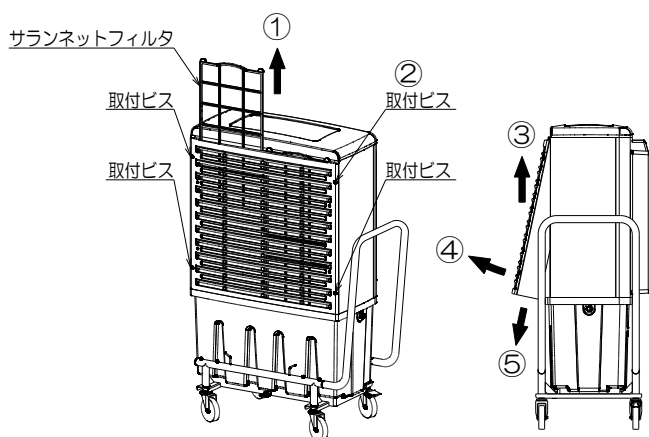
冷却エレメントは、背面カバーおよびサラネットフィルタと一体に組み立てられています。背面カバーを取り外すことにより、冷却エレメントを取り外すことができます。

● 冷却エレメントの取り外し方法

冷却エレメントの取り外しは、右図を参考に

次の手順で行ってください。

- ① サラネットフィルタを上へ引き上げて取り外します。
- ② 背面カバーの両側面にある4本のビスを取り外します。
- ③ 上へ引き上げます。
- ④ 下側を手前に引き出します。
- ⑤ 全体を下げると取り外せます。



2. 仕様

形式	AQC-500M3	
ファン径	500 mm	
ファン回転速度	3速（高・中・低）	
電源	単相 100V	
周波数	50 Hz	60 Hz
消費電力	215 W	260 W
吹き出し風量（最大）*1	100 m ³ /min	
騒音 *2	62 dB	
冷却能力 *3	4.9 kW	
水使用量	7.9 ℓ/h	
水タンク容量【貯水量】	最大 70 ℓ	
給水方式	貯水タンク手動給水または自動給水（水道接続）	
乾燥重量 / 稼働重量	40 / 110 kg	
製品寸法（幅×奥行×高さ）	750 × 585 × 1,300 mm	
冷却エレメント（幅×奥行×高さ）	645 × 100 × 675 mm	
吹出口寸法	540 × 540 mm	

*1： 吹き出し風量は、「JIS C 9601」による測定方法です。

*2： 騒音は、機端から 1.5 m 地点の平均値です。

*3： 冷却能力、水使用量は、温度 34 °C、相対湿度 55 % の条件です。

3. ご使用開始にあたって

3-1 設置場所

次のような場所での使用は避けてください。

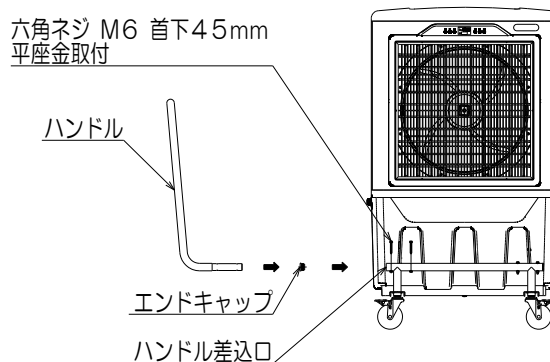
使用不適当な場所	理 由
閉めきった狭い空間	湿度が過度に上昇することがあります。
換気設備が不十分	湿度が過度に上昇することがあります。
設置面が斜面	水平設置しないと漏水の原因や、ポンプ揚水不良の原因となります。
涼風機の背面に十分なスペースがとれない	空気の吸込み抵抗が大きくなり、モータが過負荷になることがあります。
漏水が重大な問題を起こす場所	給水接続や取扱いに不具合があると、漏水することがあります。
蒸気や水がかかる場所	電気系統の故障、感電の原因となります。
金属が腐食する環境	内部部品の腐食により、故障することがあります。
オイルミストの発生する環境	冷却エレメントが濡れず、冷却能力が低下することがあります。

※ 設置後、本体が簡単に動かないように必ずキャスターのストッパーをかけてください。

3-2 ハンドル（オプション）の取り付け

ハンドル（オプション）は、以下の手順で取り付けます。

- ① ハンドルの取り付け位置を右側か左側かのどちらかを選び、選んだ側のハンドル差込口のエンドキャップと六角ネジを外します。
- ② ハンドルを差し込み、六角ネジ M6 で固定します。
- ③ 外したエンドキャップは、別途保管してください。



3-3 電源

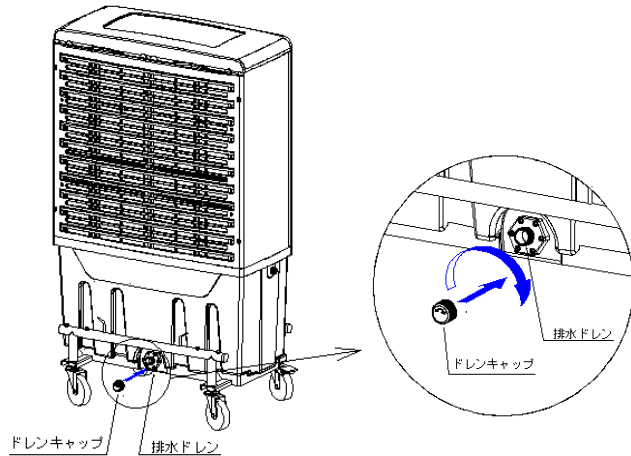
- 電源の電圧、周波数、容量を確認の上、接続してください。
本製品は単相 100V 専用です。
本製品の製品ラベルに記載してある周波数以外の周波数の電源ではご使用になれません。
- アースを必ず取り付けてください。
ガス管、水道管、避雷針用アースまたは電話用アースには接続しないでください。
アース線が不完全な場合は、感電の原因となることがあります。

3-4 排水

- 水タンクからの排水は、水タンク下部にある排水ドレンから行います。
- 排水ドレンに、ドレンキャップ（付属品）または排水バルブ（オプション）を取り付けてからご使用ください。
出荷時には取り付けられていませんので、給水をする前に必ずお取り付けください。
- ドレンキャップの場合、排水はドレンキャップを取り外して行います。
- 排水バルブは、開閉が簡単ですので、水タンク内の残留水を排水するときに便利です。

● ドレンキャップ（付属品）の取り付け方法

ドレンキャップは、出荷状態では付属品の袋に入っていますので、袋から取り出して排水ドレンに取り付けてください。



● 排水バルブ（オプション）の取り付け方法

排水バルブ（オプション）は、以下の手順で取り付けます。

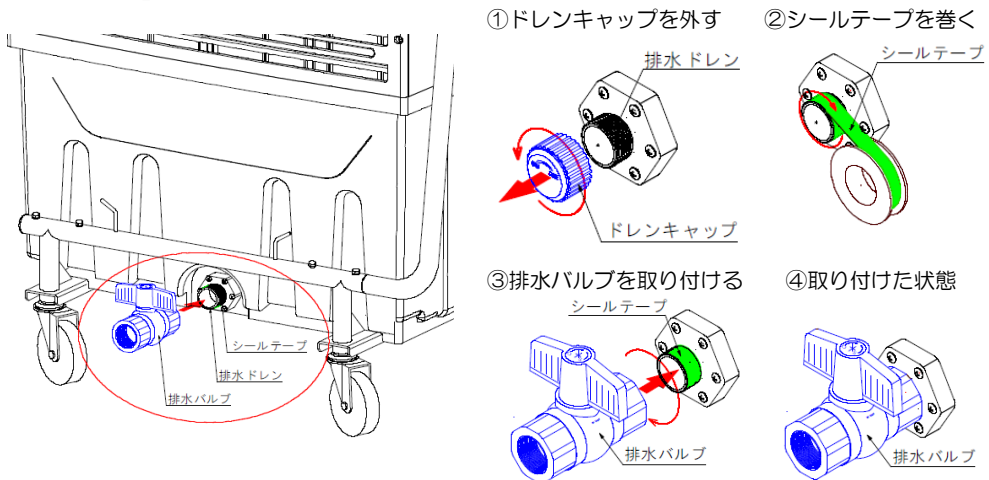
- ① 排水ドレンから、ドレンキャップを外します。
- ② バルブを取り付ける前に、接続ネジ部から漏水しないように、排水ドレンのネジ部に付属のシールテープを巻いてください。
- ③ 排水バルブを取り付けてください。

排水バルブの締め固定位置は、バルブのハンドル操作がタンクや台車に当たって邪魔にならない位置で、かつ、漏水しない状態まで締めつけて下さい。

大きな力で締め付けますとネジが破損する可能性がありますので、ご注意ください。

④ 取り付け状態

排水バルブが台車から突出しますので、何かに衝突したり、蹴ったりすると、折損する可能性があります。注意してご使用ください。

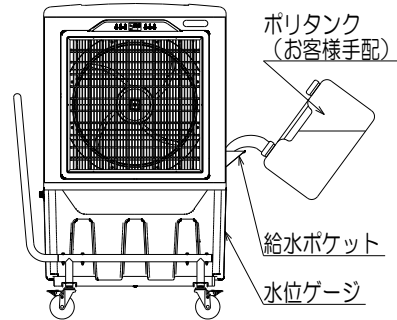


3-5 給水

- 給水は、必ず水道水をご使用ください。
井戸水や工業用水を使用すると、冷却エレメントや散水器内で藻や細菌が増殖しやすく、冷却効率低下や臭気発生の原因となるおそれがあります。
- 給水の方法は、ポリタンクやバケツ等を用いて給水ポケットから行う方法とホースをつないで自動給水する方法があります。

● 給水ポケットから給水する方法

給水ポケットの蓋を手前に引き出して、ポリタンクやバケツ等で水道水を給水してください。タンクの側面に水位ゲージがついていますので、水位が上限を超えないように確認しながら給水してください。最大で70ℓの水を入れることができます。

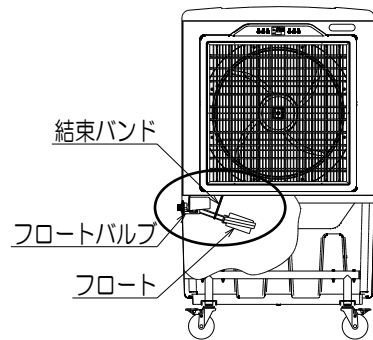


● 自動給水方法

以下の手順で、ホースを接続してください。

- ① 冷却エレメント（背面カバー）を取り外してください。
- ② 本体内部が見えるようになり、右図のようにフロートバルブのフロートが結束バンドで固定されているのが確認できます。フロートの結束バンドをはさみなどを用いて切断し、取り外してください。

自動給水用フロートバルブのフロートは、輸送中の破損を防ぐため、出荷時はタンク内で結束バンドによって固定されています。ご使用前に、必ず、フロートを固定している結束バンドを外して下さい。これをしないと自動給水がされません。

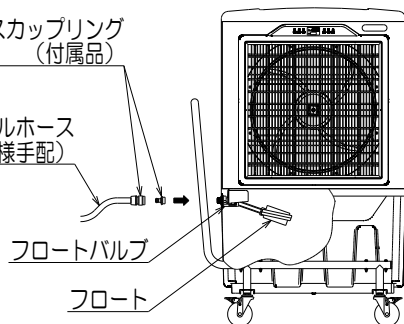


- ③ 取り外した結束バンドは、廃棄してください。
- ④ フロートバルブの端部が

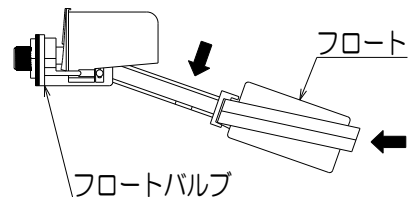
13 オスネジになっていますので、ワンタッチホースカップリング（付属品）等を取り付けて、水道ホースを接続してください。

- 水道ホースは、糸などの補強材の入った耐圧ホースを使用してください。
- ホース接続は抜けないように確実に行ってください。接続が不十分ですと、周辺を濡らしたり、漏電の危険性が増します。
- ホースの劣化（変色、硬化）時には、早めのホース交換をお奨めします。
- 水道圧は0.2MPa程度でご使用ください。

ワンタッチホースカップリング
(付属品)



- ⑤ 通常、出荷時の状態でご使用になれますが、水位調整が必要な場合は、次の要領で水位調整を行って下さい。右図の黒矢印の部分を持ち、フロートを上側から見て、時計回りに回すと水位が下がり、反時計回りに回すと水位が上がります。終端まで回すと、フロートを外すことができます。

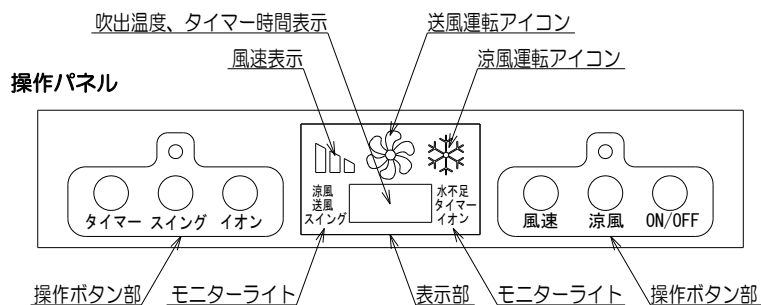


4. 運転方法

4-1 運転前チェック

- 本体が水平で、確実にキャスターがロックされているか、確認してください。
- 水タンクに水が十分あるか、水位ゲージで水位を確認してください。
- 本体または給水配管から水漏れがないか、確認してください。

4-2 操作パネルの操作ボタンの機能と表示部の表示



操作ボタン	機 能
ON/OFF	<ul style="list-style-type: none"> • 運転・停止ボタンです。 • 電源プラグをコンセントに差し込むと表示部液晶画面に「温度」が表示されます。 • この状態で、「ON/OFF」ボタンを押すと、運転を開始します。 運転が開始されると「風速表示」、「涼風運転アイコン」または「送風運転アイコン」、モニターライトの「涼風」または「送風」が点灯します。 • 運転モード（涼風または送風）と風速（低速・中速・高速）の設定は、前回停止時の運転状態と同じになりますが、運転開始から 10 秒間は低速設定となり、10 秒後に設定された速度に自動で切り替わります。 最初の運転の場合は、低速の涼風運転となります。 • 運転状態で「ON/OFF」ボタンを押すと、全てのプロセス（ファン、ポンプ、イオン発生器、水位センサ）を停止します。 表示部液晶画面に「温度」だけが表示されます。
涼 風	<ul style="list-style-type: none"> • 運転モード（涼風モード・送風モード）切り替えボタンです。 • 送風運転中に「涼風」ボタンを押すと、涼風運転に切り替わります。 （ポンプが運転を開始します。） 涼風運転中は、「涼風運転アイコン」とモニターライトの「涼風」が点灯します。 • 涼風運転中に「涼風」ボタンを押すと、送風運転に切り替わります。 （ポンプが停止します。） 送風運転中は、「送風運転アイコン」とモニターライトの「送風」が点灯します。
風 速	<ul style="list-style-type: none"> • 風速（低速・中速・高速）切り替えボタンです。 • 運転中に「風速」ボタンを押すと、 順番に 低速 → 中速 → 高速 → 低速 → 中速 → 高速 と切り替わります。 風速は、「風速表示」に示されます。 表示は右から左に「低速」「中速」「高速」です。
スイング	<ul style="list-style-type: none"> • 吹出口ルーバー（奥側）の運転・停止ボタンです。 • 運転中に「スイング」ボタンを押すと、吹出口の奥側のルーバーが水平方向に 40 度の範囲でスイングします。 「スイング」ボタンを押すごとにスイングと停止を交互に繰り返します。 スイングしている時は、モニターライトの「スイング」が点灯します。 • 手前側のルーバーは自動でスイングしませんが、手動で垂直方向に向きを変えることができます。 上下それぞれ 5 枚一組ですので、3 枚目のルーバーの両端を持って風向きを調節してください。

操作ボタン	機 能
イオン	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン発生器（イオン機能）の運転・停止ボタンです。 ・運転中に「イオン」ボタンを押すと、イオン発生器が運転を開始します。「イオン」ボタン押すごとにイオン発生器の運転、停止を交互に繰り返します。イオン発生器が起動するとモニターライトの「イオン」が点灯します。
タイマー	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマーの設定ボタンです。 【運転開始・運転停止】 ・「タイマー」ボタンを押して数値を入力すると、運転開始と運転停止の時間（設定した時から〇時間後）が設定できます。運転中に設定すると運転停止タイマー（自動停止）に、停止中に設定すると運転開始タイマー（自動起動）になります。タイマーは、1時間単位で24時間まで設定できます。 ・「タイマー」ボタンを押すとモニターライトの「タイマー」が点滅しますので、表示部液晶画面に表示される数字が設定したい時間になるように「タイマー」ボタンを押して調整します。設定時間の数値を変更後5秒後にモニターライトの「タイマー」が点滅から点灯に替わり、タイマー機能が開始されます。表示部液晶画面の数値表示は、タイマーの設定時間表示から温度表示に切り替わります。 ・タイマーのキャンセル方法（次のいずれかの方法でキャンセルできます。） <ul style="list-style-type: none"> ・データを00.0に設定します。 ・モニターライトの「タイマー」が点滅している時に、「ON/OFF」ボタンを押します。 ・モニターライトの「タイマー」が点灯している時に、「ON/OFF」ボタンを2回押します。涼風機をリスタートするのと同じになります。 【冷却エレメントの自動乾燥運転】 ・涼風運転中に停止した時、停止後、任意に設定した時間（5～60分）の間、低速で送風運転をして冷却エレメントを自動的に乾燥する機能です。（送風運転中に停止した場合は、自動乾燥運転は行われません。） ・「タイマー」ボタンを3秒以上押すと、表示部液晶画面に、前に設定された自動乾燥運転時間「●●.●」（製品出荷時は「00.0」）が表示されます。（「●●.●」の数字は分を表しています。「30.0」は30分の意味です。） ・「風速」ボタンで自動乾燥運転時間を設定します。設定範囲は00.0～60.0（0～60分）です。「風速」ボタンを1回押すごとに5分間長くなり、60.0に達すると00.0に戻ります。（リモコンの「風速-」ボタンは、1回押すごとに5分間ずつ時間が減少します。）製品出荷時は00.0分に設定されており、時間を「00.0」に設定すると、自動乾燥運転は行われません。 ・自動乾燥運転時間を任意の数値に変更後、「タイマー」ボタンを1回押すと、設定時間が保存されます。 ・自動乾燥運転中は、「送風運転アイコン」が表示され、表示部液晶画面に数値「00.0」が1秒間隔で点滅します。 ・涼風運転中または自動乾燥運転中に、自動乾燥運転を強制的に停止する場合は、「ON/OFF」ボタンを「ピー」という電子音が鳴るまで長押ししてください。涼風運転、または自動乾燥運転を直ちに停止します。
「水不足」の表示	<ul style="list-style-type: none"> ・水タンク内の水位が下限値になると、ポンプが停止し、モニターライトの「水不足」が点滅します。

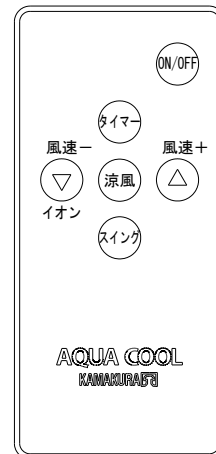
※ 電源がオフの状態では「涼風」「風速」「スイング」「イオン」の操作はできません。「水不足」も表示されません。

4-3 リモコンの操作ボタンの機能

操作ボタン	機 能
ON/OFF	・運転・停止ボタンです。
涼 風	・運転モード（涼風モード・送風モード）切り替えボタンです。
風速 -	・風速の低速運転切り替えおよびイオン発生器（イオン機能）の運転・停止ボタンです。 ・運転中に「風速 -」ボタンを押すと、順番に 風速低速 → イオン発生器運転 → 風速低速 → イオン発生器停止 → 風速低速 と切り替わります。
風速 +	・風速（低速・中速・高速）切り替えボタンです。 ・運転中に「風速 +」ボタンを押すと、順番に 低速 → 中速 → 高速 → 低速 → 中速 → 高速 と切り替わります。
スイング	・吹出口ルーバー（奥側）の運転・停止ボタンです。 ・運転中に「スイング」ボタンを押すと、吹出口の奥側のルーバーがスイングします。 「スイング」ボタンを押すごとにスイングと停止を交互に繰り返します。
タイマー	・タイマーの設定ボタンです。 ・「タイマー」ボタンを押して数値を入力すると、運転開始と運転停止の時間（設定した時から〇時間後）および涼風運転後の冷却エレメントの自動乾燥運転時間が設定できます。

リモコン

- ・ご使用前になる前に電池の絶縁シートを取り外してください。
- ・電池：CR2025



5. 日常の管理

快適にご使用いただくために、以下の点にご注意ください。

- 初期の臭気について
 - ・使用の初期に冷却エレメントに含まれる樹脂の臭いがすることがあります。一日程度、涼風運転をすると減少します。水交換を頻繁に行なうと、より早く解消されます。
- 換気を十分に
 - ・アクアクールミニは、水が気化して空気を冷却するため、室内湿度を上げる方向に働きます。
 - ・換気の不十分な狭い場所では、湿度が過度に上昇し、カビ発生などの弊害が生ずる場合があります。
 - ・窓や扉を十分に開け、外気の出入りを容易にしてください。換気扇などの強制換気装置と併用すると効果的です。
 - ・周辺の湿度があまり高くなり過ぎますと、冷却効果が得られなくなります。そのような時には涼風運転を停止し、送風のみでご使用ください。
- 冷却エレメントの自動乾燥運転
 - ・不快な臭いの発生を抑制するために、涼風運転後、送風運転して冷却エレメントを自動的に乾燥することを推奨します。
- 運転終了時の排水
 - ・日々の運転終了時は、水タンク内の水を排水することをお奨めします。排水しないで長期間使用すると、雑菌が繁殖して不快な臭いを発生させることがあります。排水は、水タンク下部のドレンキャップを反時計方向に回し取り外して行ってください。
- サランネットフィルタ、冷却エレメント、水タンクの清掃
 - ・サランネットフィルタや冷却エレメントに埃や汚れが付着すると、風量が少なくなり涼風効果が低減します。定期的に清掃を行ってください。
 - ・また、冷却エレメントや水タンクが汚れると雑菌が繁殖し易くなります。柔らかいブラシを使用して水道水で洗ってください。
 - ・オイルミストが多い環境でご使用の場合、オイルミストがエレメントに付着し、吹出口からの水飛びや水飛びによるモータなどの部品破損が発生します。エレメントの清掃頻度を増やしてください。

6. 運転の休止と再開

■ 使用休止時

- ・水タンクの水は、排水ドレンキャップを抜いて完全に排水してください。
- ・冷却エレメントや水タンクなどを清掃後し、その後よく乾燥させてください。
- ・電源プラグをコンセントから抜いて、乾燥した場所に保管してください。
- ・冬季は凍結しないようにして保管してください。

■ 使用再開時

- ・使用再開前に必ず点検・清掃を実施してください。
清掃は、前項の「日常の管理」を参照して行ってください。
清掃により、より快適にお使いいただけます。

7. 異常の原因と処置

症 状	原 因		処 置
スイッチを入れてもファンが作動しない	電源が入っていない (電源プラグがコンセントに接続されていない)		電源を確認する。
	電気系統の異常 ・回路の接点不良・短絡 ・ファンモータ過負荷または故障		修理を依頼する。
吹出空気が冷たにならない	水が不足している		水を補給する。 フロートバルブのフロートを回転させ水位を調整する。 本体を水平にする。
冷却エレメントが全くまたは十分濡れない	ポンプの動作不良	ポンプの故障	修理を依頼する。
		ポンプの目詰まり	ポンプ周辺を清掃する
	吸い込み周辺空気の湿度が高すぎる	換気不足 その場所の水蒸気発生が多い 天候不良で室内外ともに湿度が非常に高い	窓や扉を開け、十分換気する。 換気ファンを設ける。 送風のみ運転とする。
本体からの水漏れ	オーバーフロー	フロートバルブ設定不良	フロートバルブのフロートを回転させ水位を調整する。
		フロートバルブ不良	修理を依頼する。
	給水系統の締付け不良		漏水部接続をやり直す。
	排水系統の不良	ドレンキャップの締付け不良	
		部品の破損	パッキン不良
修理を依頼する。			
振動や騒音の発生	ファンおよびその他の部品	部品損傷または締付け不良	修理を依頼する。
	サランネットフィルタ、冷却エレメントの目詰まり		清掃する。
	涼風機の背面に十分なスペースがない	空気の吸込み抵抗が大きく、モータやプロペラに過度の負荷がかかっている	背面の空間を 30cm 以上にする。

※ 上表の処置をしても修復出来ない時は、ご購入先または弊社営業所に修理を依頼してください。

※ 安全に関する注意事項

- ・有資格者または修理技術者以外の方が修理したり、分解することは絶対にしないでください。
また、勝手に改造等を加えてはいけません。
- ・上表の処置をしても復旧しない時は、直ちに運転を停止して、電源プラグを抜いてください。

アフターサービス

＝ 製品の保証について ＝

1. この製品の保証期間は、お買い上げの日から1年です。
保証期間内に取扱説明書、注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で生じた故障は、無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
 - ① 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障や損傷
 - ② 異常電圧・火災・地震・雷・風水害またはその他の天災地変などの外部要因による故障や損傷
3. 保証期間後の修理は、ご購入先または弊社営業所にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をいたします。
修理を依頼される時は、製品の機種・形式・製造番号をお知らせください。
4. この製品の補修用性能部品の対応期間は、製造終了から7年間です。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
※ この期間は、経済産業省の指導によるものです。

アフターサービスについては、

製品のご購入先または弊社営業所にお問い合わせください。



本社：東京都港区北青山2-7-11 〒107-8623
TEL：(03)3403-4353 FAX：(03)3497-5059
ホームページ：http://www.kamakura-ss.co.jp/

東京営業所	TEL (03) 3403-4308
仙台出張所	TEL (022) 257-0319
長野営業所	TEL (026) 283-9220
静岡営業所	TEL (054) 202-8620
名古屋営業所	TEL (052) 733-2811
大阪営業所	TEL (06) 6768-0345
広島営業所	TEL (082) 291-4771
福岡営業所	TEL (092) 441-6460

代理店

※ 改良のため、仕様・性能等は予告なく変更されることがありますので、予めご了承ください。